

9/2 3.70

(軍事費)の概算要求で、過去最大の大(7兆7380億円)を計上しました。年末の予算案編成の際に具体的な金額が決まるまでは軍事費は含まれていません。これら経費を除いた23年度当初予算の兆6001億円と比べ、1兆13384億円(17・2%)もの大幅増額です。岸田文雄政権が昨年末に決定した安保3文書の一つ、「防衛力整備計画」が、23・27年度の5年間で軍事力を抜本的に強化するため総額43兆円の軍事費をつけ込むことになりました。この点で、常設統合司令部を創設

主張

軍事費概算要求

ル発射拠点などを直接たたぐこと
が可能です。岸田政権が安保3文
書で初めて保有を決めた敵基地攻
撃能力の具体化です。

・アシヨー」の計画破綻・撤回を受け、その代替として新造するもの。機動要求では統合防空ミサイル防衛能力」の強化として、2隻の建造費を計上しました。2隻の取得費は過去の計上大方も含め約7,000億円に上ります。

組み入れるものです。敵のミサイルを「ミサイルによって迎撃するだけ中國領域のミサイル発射場地を先制攻撃するれます。

ム搭載艦の駆逐艦、巡洋艦、揚弾艇、トマホークなど多様な長距離ミサイルの研究開発・運用・取得を進めるため計4つの艦隊を計上しました。飛行距離や機動性から攻撃の対象ミサイルなどの射程範囲で、イーシス・システム搭載艦は陸上配備型迎撃システム「イーシス

(CP-1) の日本共同開発費（750億円）も盛り込まれた。イメージ・システム搭載艦の建造では、CP-1や敵基地攻撃可能な12式地対艦説得弾能力向上型を搭載できるようになります。

設が機密要求に盛り込まれたのは重大です。防衛省はその理由の一ついでこれまで米インド太平洋軍との調整機能が不足していたとして挙げています。統合司令部の創設によって日本軍事一体化、融合は遂く進むことになります。